

# 安全データシート

作成日 23/05/2011

## 1. 製品内容および取り扱い会社

- 1.1 製品名: 接着系アンカー 打込み型カプセル RESIN-A HC-U  
品番 HC-8U-HC-30U
- 1.2 主たる用途および推奨用途
- 1.2.1 主たる用途 アンカー材料
- 1.2.2 推奨用途 なし
- 1.3 会社: ユニカ株式会社、東京都千代田区岩本町2-10-6  
担当者: Schroeder@chemiebuero.de
- 1.4 緊急連絡先: 03-3864-8711(9.00 AM - 5.00 PM)

## 2. 危険情報

### 2.1 成分区分

- 2.1.1 規則 (EC) No 1272/2008 [CLP] による区分 : 適用なし
- 2.1.2 規則 67/548/EEC or 1999/45/EC による区分 : Xi, R 10-43

### 2.2 表示

#### 危険物表示



刺激性あり

#### 内容物

過酸化ベンゾイル

#### R フレーズ

R10 発火のおそれあり  
R43 皮膚接触による感作のおそれあり

#### S フレーズ

S3/7 容器を密封して冷暗所に置く  
S36/37 適切な保護衣および手袋を着用する  
S60 本材料と容器は危険廃棄物として処理する

#### 特殊表示

適用なし

### 2.3 その他の危険

- 物理化学的危険 第10章参照  
人体への危険 第11章参照  
環境への危険 第12章参照  
その他の危険 特になし

## 3. 成分情報

- 3.1 内容物 : 本製品は混合物よりなる

### 3.2 混合物

比率 [%] 成分  
20 - <30 二酸化ケイ素

CAS: 14808-60-7, EINECS/ELINCS: 238-878-4  
GHS/CLP 未定

1 - <12.5

スチレン

CAS: 100-42-5, EINECS/ELINCS: 202-851-5, EU-INDEX: 601-026-00-0

GHS/CLP: Flam. Liq. 3, H226 - Acute Tox. 4, H332 - Eye Irrit. 2, H319 - Skin Irrit. 2, H315

EEC: Xn R10-20-36/38

1 - <5

過酸化ベンゾイル

CAS: 94-36-0, EINECS/ELINCS: 202-327-6, EU-INDEX: 617-008-00-0

GHS/CLP: Org. Perox. B, H241 - Eye Irrit. 2, H319 - Skin Sens. 1, H317

EEC: E-Xi R3-7-36-43

成分に関するコメント

極度の不安物質 SVHC は含まれないか、または 0.1% 以下である。

リスクフレーズについては第 1 6 章参照。

---

## 4. 事故時の応急処置

### 4.1 応急処置の内容

- 一般情報** 汚染された衣服は着替える。
- 吸い込み** 新鮮な空気のある場所に移動させ休ませる。  
症状がある場合には医師に相談する。
- 皮膚接触** 皮膚に接触したときには、すぐに石鹸と水で洗い流す。  
長くひりひりするようであれば医師に相談する。
- 目に入る** 多量の水で十分洗って医師に相談する。
- 飲み込み:** 該当なし

4.2 最も重要な急性ないし慢性症状 特に情報なし

4.3 とっさの医療上の注意および特殊処置 対症療法

---

## 5. 消火処置

### 5.1 消火剤:

**適切な消火剤** フォーム、乾燥した粉末、ウォータースプレージェット、二酸化炭素

**使用できない消火剤** 大量のウォータージェット

### 5.2 成分に起因する特殊な危険性

未確認の有害熱分解物質の生成の危険性

5.3 消火員への助言: 独立した空気源をもつ呼吸装置を着用する

危険にさらされている容器をウォータースプレージェットで冷却する

燃えかすや汚染された消化水は地域条例に従って廃棄しなければならない

---

## 6. 不測の事故防止処置

### 6.1 人的予防措置、保護具および緊急処置

すべての発火源からはなれる

防護服の着用

6.2 環境予防措置 適用なし

6.3 清掃手順 機械的に除去する

残渣は適切な吸収剤で除去する

吸収物は規則にしたがって廃棄する

6.4 関連するほかの章 8 章および 1 3 章参照

---

## 7. 取り扱いおよび保管

7.1 安全な取扱い上の注意 正しく使用する限り、特別の処置は必要ない

衝撃や摩擦を与えないように取り扱いに注意する

すべての発火源からはなれて、禁煙

7.2 保管条件 特別の処置は必要ない

適用なし  
 加熱を避ける  
 日光にあてない  
 涼しい場所に保管する  
 保管温度を25℃以上にあげない

### 7.3 特殊用途

1.2 章参照

## 8. 暴露管理/人体保護

### 8.1 管理因子

#### 労働暴露限界として監視する成分 (GB)

比率 (%)	成分 WEL: 作業場暴露限界
20 - <30	二酸化ケイ素 / - ppm, 0,3 mg/m <sup>3</sup> , respirable crystalline, 14/3,37,38,51/2,76
1 - <5	過酸化ベンゾイル、 / - ppm, 5 mg/m <sup>3</sup> , -
1 - <12,5	スチレン、 / 100 ppm, 430 mg/m <sup>3</sup> , -

### 8.2 暴露管理

システム設計上の追加助言 作業場の適切な換気を確保する

目の保護: 保護めがね。

手の保護 内容は助言であり、さらなる詳細は手袋メーカーに問い合わせる。

直接接触する場合には、ブチルゴム製手袋着用、 > 120 min (EN 374)

皮膚保護: 軽装保護作業衣を着用する。

その他 目や皮膚への接触を避ける。

取り扱う危険物の濃度や量により、各作業場ごとに人体保護器具を選定する。これら器具の薬液に対する抵抗性は、信頼のおけるメーカーに確認する。

作業時に飲食、喫煙および薬飲用は避ける。

休憩前や作業終了後には手洗いをする。

保護クリームを使用する。

呼吸保護: 高濃度の場所では呼吸装置を使用する。

短期用にはフィルター装置、フィルターA

熱災害

適用なし

環境暴露限界および監視

6 章および7 章参照

## 9. 物理化学特性

### 9.1 基本的な物理化学特性情報

形状	カプセル
色	適用なし
臭い	適用なし
臭いの許容限界値	未決定
pH値	適用なし
pH値 (1%)	適用なし
沸点 (°C)	未決定
引火点 (°C)	33 (樹脂)
着火点 (°C)	未決定
爆発下限値	適用なし

爆発上限値	適用なし
酸化特性	適用なし
蒸気圧 (kPa)	未決定
濃度 (g/ml)	適用なし
高密度 [kg/m <sup>3</sup> ]	適用なし
水溶性	水溶性あり
分配係数 (n-オクタノール/水)	未決定
粘度	未決定
気中相対蒸気密度	未決定
蒸発速度	未決定
融解点 (°C)	未決定
自動発火温度 (°C)	未決定
分解温度 (°C)	未決定
9.2 その他の情報	なし

## 10. 安定度と反応度

10.1 反応度	通常の用途では特に危険な反応は知られていない
10.2 化学的安定度	通常の状態では安定している。
10.3 危険反応の可能性	温度上昇による重合反応
10.4 回避すべき条件	7.2章参照、 過熱
10.5 回避材料	水、酸、アルカリによる分解反応
10.6 有害分解物質	特になし

## 11. 毒性情報

### 11.1 毒性影響情報

#### 急性症状

比率 (%)	成分
1 - <5	過酸化ベンゾイル、 CAS: 94-36-0
	LD50、経口、ラット：7710 mg/kg (HSDB)
	LC50、吸入、ラット：> 24.3 mg/l 4 h.
1 - <12.5	スチレン、 CAS: 100-42-5
	LC50、吸入、ラット：12 mg/l (4h)
	LD50、経口、ラット：2650 mg/kg.

重大な目の損傷/刺激	未決定
皮膚腐食/刺激	未決定
呼吸または皮膚の感作	未決定
特定臓器への毒性—1回限りの暴露	未決定
特定臓器への毒性—繰返し暴露	未決定
遺伝毒性	該当なし
繁殖毒性	未決定
発ガン性	未決定
その他	毒性データは存在しない

本製品の分類は、準備指令の計算手順に基づいて決定されたものである。

## 12. 生態環境情報

### 12.1 毒性

比率 (%)	成分
1 - <5	過酸化ベンゾイル、CAS: 94-36-0
	バクテリア EC10: 2,2 mg/l/30min.
1 - <12,5	スチレン、CAS: 100-42-5
	LC50, (96h),魚類 : 32 mg/l.
	EC50, (48h),オオミジンコ : 4.7 mg/l.
	IC50, (96h),藻類 : 0,72 mg/l.

## 12.2 永続性および分解性

環境部門における影響	未定
下水処理場における影響	適用なし
生態系分解性	適用なし

## 12.3 生態蓄積可能性

特に情報なし

## 12.4 土壌内移動性

特に情報なし

## 12.5 PBT および vPvB 評価結果

特に情報なし

## 12.6 その他の悪影響

生態情報なし

## 13. 廃棄にたいする配慮

### 13.1 廃棄処理方法

廃棄物処理にかんしては行政当局と調整すること

#### 製品

危険廃棄物として処理する  
必要に応じて当局と廃棄について相談する

#### 廃棄番号 (推奨)

080411\*

#### 汚染包装物

汚染されていない包装物はリサイクルして再使用できる。  
洗浄できない包装物は製品と同様に廃棄する。

#### 廃棄番号 (推奨)

150110\*

## 14. 輸送情報

### 14.1 UN 番号

UN 出荷名称に従い 14.2 項参照

### 14.2 UN 出荷名称

ADR による分類

ADR 2.2.3.1.5 TO MAX. 450 L によれば危険物質に該当しない

IMDG による分類

IMDG 2.3.2.5 TO MAX. 30 L (5.4.1.5 項) によれば危険物質に該当しない(5.4.1.5.10 項参照)  
[IMDG 規格 2.3.2.5 項に従った輸送]

IATA による分類

UN1866 樹脂溶液 3III

表示



### 14.3 輸送危険クラス

UN 出荷名称に従い 14.2 項参照

#### 14.4 梱包グループ

UN 出荷名称に従い 14.2 項参照

#### 14.5 環境への危険性

UN 出荷名称に従い 14.2 項参照

#### 14.6 ユーザーへの警告

6~8 項の関連項目参照

#### 14.7 **MARPOL73/78**付属書Ⅱおよび**IBC Code**に準拠したばら積輸送

特に情報なし

---

### 15. 法規関連情報

#### 15.1 成分および混合物に対する安全、衛生および環境規制

EEC 規制	1967/548 (1999/45); 1991/689 (2001/118); 1999/13; 2004/42; 648/2004; 1907/2006 (Reach); 1272/2008; 75/324/EEC (2008/47/EC); 453/2010/EC
輸送規制	DOT 分類、ADR (2011); IMDG-Code (2011, 35. Amdt.); IATA-DGR (2011)
国別規制 (GB)	EH40/2005 作業場暴露限界 (2007 年 10 月修正) <b>CHIP 3/ CHIP 4</b>

#### 15.2 化学物質安全性評価

本混合物の成分に対する化学物質安全性評価は実施されていない

---

### 16 他の情報

#### R フレーズ (第 3 項)

R10	可燃性
R20	吸入すると有害
R36/38	目や皮膚に刺激性あり
R3	衝撃、摩擦、炎ほか発火源により爆発の可能性大
R7	発火の可能性
R36	目に刺激性あり
R43	皮膚接触により感作のおそれあり

#### 危険性記載 (第 3 項)

H226	薬液および蒸気が可燃性
H332	吸い込むと有害
H319	目への刺激性が著しい
H315	皮膚への刺激性
H241	加熱による発火または爆発の可能性
H317	皮膚へのアレルギー反応を引き起こす可能性あり

#### 従業員規制遵守

要

#### **VOC (1999/13/CE)**

約 12%

法的声明文：上記の情報は、これまでの知識より正しいと思われるもので、すべてを含むわけではない。手引きとして使用されたい。

当社は本製品の取り扱いおよび接触によるいかなる損害に対しても責任を負わないものとする。

#### ユニカ株式会社

東京都千代田区岩本町 2 - 1 0 - 6  
TEL: 03-3864-8711 FAX: 03-3864-7746